

# 環境の

# 美

# 化は社会の潤滑油。

ビルや施設が汚れていたり、ごみがずっと溜まっていたりすると  
そのお店や施設の価値が下がってしまいます。いつもきれいにしておくことが  
評価を上げ、ご近所さんとの関係も良好となります。一般廃棄物、産業廃棄物の処理は  
これからの私たちの暮らしや環境の保全・改善に大きく関わってきます。  
私たちの仕事はまさに「人」「社会」「生物」「地球」にとって「住み良い環境づくり」なのです。



## 資源部門 資源化の向上を目指します

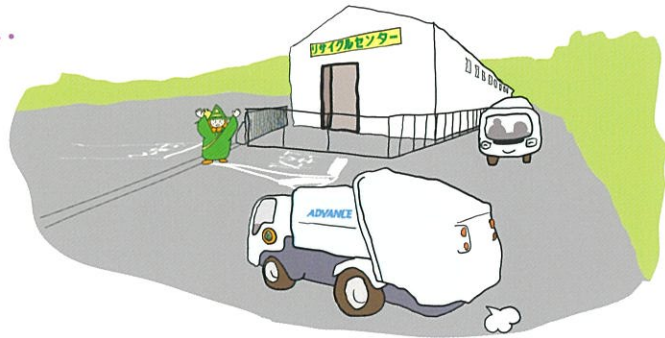
### リサイクル受託事業

当社では静岡県御前崎市環境保全センター内にて廃プラスチックの中間処分（選別）工場を稼働させています。お客様より排出される廃棄物を「資源」と考え、リサイクル率の向上に努めています。

### 作業フロー①②③

#### ①集積

各町内の集積所からパッカー車でゴミ袋を回収してきて、リサイクルセンターの工場に集めます。

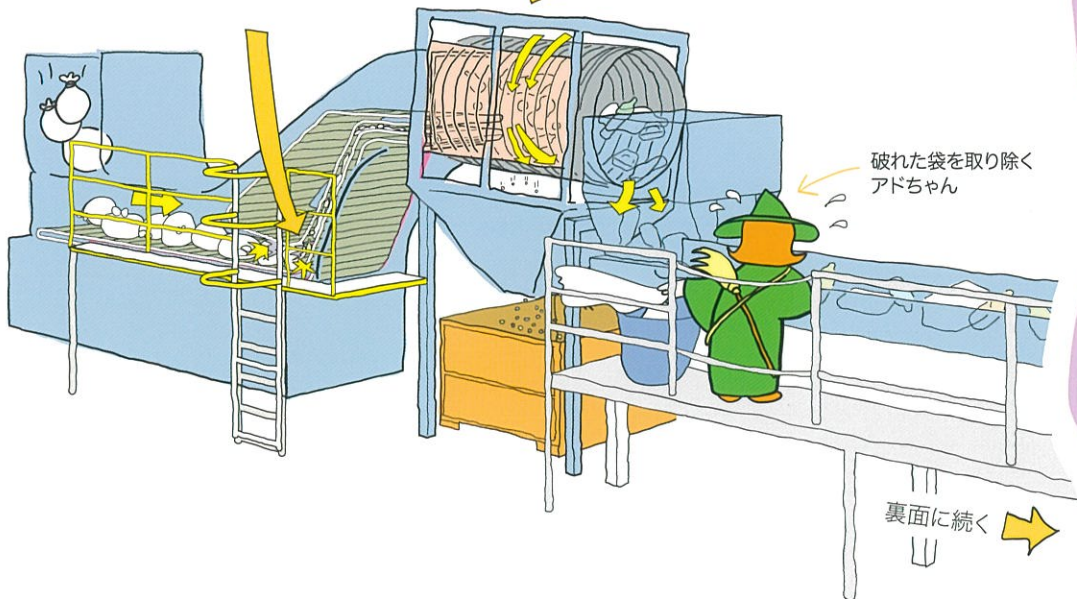


#### ②破袋

袋に入った廃プラスチックを最初に破袋機に投入いたします（袋を破る）。

#### ③粗選別

トロンメル機（くるくる回転して細かいゴミを下に落とす）にかけて粗選別します。



## 作業フロー④

### ④手選別

次にベルトコンベアにのせて、作業員が禁忌品（入れてはいけない金属物など）を手選別します。

例：ライター、カミソリ、紙、木、食べ残しや汚れの付着したもの。歯ブラシ、スポンジ、CD・DVDなどの記憶媒体、金属を使用している文房具、家電機器など。



## 作業フロー⑤

### ⑤圧縮

選別されて流れてきたプラスチックを、この圧縮機により1つ約40kgの塊（ペール）になります。この機械では1日約2,400kgのペールを作ることができます。



## 軟質系と硬質系のプラスチックゴミを正しく分別

当社は、容器包装リサイクル法で対象になる「容器包装」を手選別で分別をおこなっており、破袋機では、どんなに固く梱包された袋でも100%破袋されて中のものが取り出せます。

また、その後のトロンメルは、容器包装にならない詳細なゴミを取り除き、手選別の作業に移ります。手選別では、ベルトコンベアで容器包装にそぐわない物（禁忌品）を除去しております。これによって、軟質系のプラスチックと硬質系のプラスチックが混在したプラスチックゴミも正しく分別が可能です。

